

活動報告

団体名	鶴の恩返し
活動名	被災地の自立復興のためのボランティア派遣活動
活動期間	2018/07/10～2018/10/31
活動の成果	<p>広島県、愛媛県、岡山県で重機や手作業による土砂撤去の活動に加えて、支援物資の配布を行ったため、支援対象者はのべ1,000人としているが、一人ひとりに対する貢献度は低いという面もある。</p> <p>そうした中、昨年の被災者が「恩送り活動」として支援活動をするることによって得られた成果を数点述べてみる。</p> <p>①被災された方々が疲れ切った様子の中、「去年私どもも多くの方々にお世話になったこと」、「今は恩返しができるようになったこと」などを話すと、心を開いてくださり、心の内を話してくださることが多かった。</p> <p>②「恩送り活動」ということを伝えると、「いつか私たちにもできるかなあ？」と言われつつ、明るい未来を想像し、前向きな発言が多くなった感じがした。</p> <p>③ ②の他に、「いつか私たちも！」と言われ、支援の輪が広がっていく感じがした。</p> <p>④「恩送り活動」をしている私たちの元気な姿を実際に見ていただくことによって、被災者の方々がそれぞれの感じ方をされているようで、言葉のいらぬ世界もあったように感じた。</p> <p>その他、真備町を地元とする団体を正式に立ち上げることの必要性を語ることで、「スマイリング」立ち上げの一助を担わせていただくことができた。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>これまでは、熊本地震の支援活動を個人的に行い、昨年は地元の被災に対して自分のこととして地域復興活動を行ってききましたが、この度初めてボラサポの助成金をいただいた活動に取り組みさせていただくことができました。</p> <p>言い換えますと、これまでは個人の活動という枠の中で孤独に活動してまいりましたが、ボラサポの助成金をいただく中での活動は、寄付をしてくださる方々の思いを背負っての活動であり、その責任を感じながらも、心強さを感じながら充実した活動をさせていただくことができました。</p> <p>今後も皆様方の願いを背負って活動ができればと願っております。共に被災地の真の復興を願わせていただき、共に被災地復興の一助を担わせていただければ幸甚に存じます。</p>

(活動のようす)

